

9月議会報告

公明党さんの言う通りです



9月議会報告

64力所の車いす用駐車場が年度内整備へ

県は県有施設453力所のうち、車いす利用者用の駐車場が未整備だった64力所について、今年度中に整備をすることを約束しました。障害者団体から、「福祉のまちづくり条例」を定めている県が管理する施設なのに車いす用駐車場がないところがあるとの指摘を受け、石渡豊議員（公明）が県に迫ったところ、「まことに遺憾。速やかに設置する」と副知事が答弁。所沢市内で未設置だった自動車税事務所と所沢養護学校には早速設置されたとのこと。



9月議会報告

県庁職員の手話講習会実施へ

県庁では、聴覚障害者への対応を筆談で行っているが、久保田厚子議員（公明）が、「心の通った対応のためには手話のできる職員が必要」と指摘。福祉部長は「速やかに県職員の手話講習会を開催する」と約束しました。

9月議会報告

不妊治療費助成が5年間に延長へ

県と国で行っている不妊治療費助成は期間が2年間に限定されていますが、久保田厚子議員（公明）が、治療は長期間に及び、5年間程度で妊娠率が上がる点から期間延長を求めたところ、上田知事は来年度から助成期間を5年に延長することを明言しました。



民間でできることは民間に



9月議会報告

下水道管理の民間委託が開始へ

県の下水道公社が維持管理している流域下水道の一部を民間委託することが決定しました。対象となるのは、荒川上流と市野川の流域下水道の二つで、今後入札によって3年間の委託契約が結ばれ、来年度から業務開始となります。下水処理の品質を確保しつつ民間の創意工夫で効率的な維持管理を目指すもので、現状では4%程度のコスト削減を見込んでいます。



今回は、試行的に県全体で8力所ある流域下水道のうち、比較的小さな2つの流域下水道の民間委託を

実施しますが、これが成功して県全体に波及すれば、下水道の維持管理費は年間約200億円に上りますので、大きな節約となります。



私は、平成16年2月定例会の予算委員会で、県の下水道維持管理を下水道公社が独占している問題を取り上げ、民間委託すべきと提案しましたが、今回の委託で一部実現となりました。県レベルでこれだけ徹底的な民間委託をするのは埼玉県が全国初となるそうです。



9月議会報告

駐車違反の取締りも民間委託へ

来年度から警察官が行ってきた駐車違反の取締り（正確には『放置車両確認事務』と呼びます）が、民間委託されることになりました。駐車違反の取締りは多くの時間と労力がかかる割には検挙率が低下傾向にある上、「逃げ得」も発生、事故の原因にもなっていました。



警察署の端末にデータ登録されます

一タはすぐに警察署の端末に登録される仕組みです。

来年度6月からは、繁華街を管轄する県内25警察署管内（所沢市も含む）の違法駐車の確認事務を民間委託された法人の「駐車監視員」が行うことになりました。二人一組の監視員が駅前などの指定路線・区域を巡回し、違法駐車の手を発見すると、専用の携帯端末で車を撮影、データを入力して標章（ステッカー）を貼り付け、デ

けでなく、警察官不足の折り、民間の駐車監視員が業務を肩代わりすることによって、警察官の増員と同じ効果が出ることを期待されます。

9月議会報告

県営神川温泉保養センターを民営化

県北の神川町にある「県営神川温泉保養センター」を来年度3月いっぱいまで廃止して、民間に売却することが決定しました。同センターが地域振興の一貫としてオープンしたのは4年前。温泉施設としてはハイレベルで人気もありましたが、採算が合わず、県営施設としては閉鎖して民間に売却することとなりました。建設費に比べると大分安い価格での売却が予想されますが、どうしても県でやらなければならぬ仕事とは言えず、これ以上赤字を増やさないためにも当然の決定と言えます。

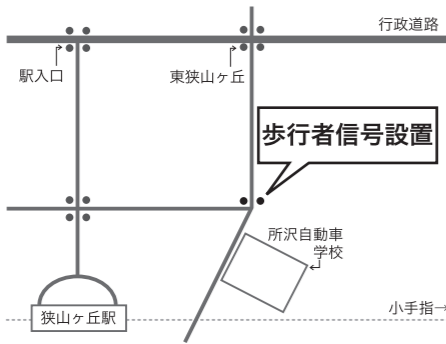
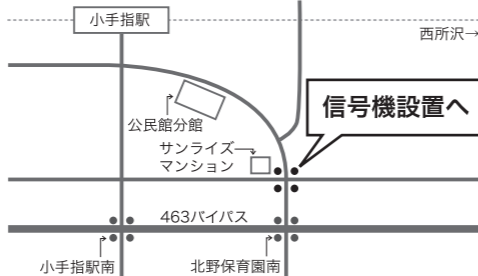
地域での実績です！



実現しました

みなさんのお声を反映させて

交差点2カ所に信号機
小手指四丁目サンライズマンション前の交差点に今年度中に信号機が設置されることが決まりました。ここは、幹線道路の抜け道となっており、狭いのに交通量が多いのに、狭く変則的な交差点でしたが、5年越しの要望がようやく実現しました。



また、狭山ヶ丘駅から行政道路に向かう東狭山ヶ丘一丁目の井沢宅前のT字路に歩行者用信号機が今年3月に設置されました。これも地域の方の長年の要望だったものです。

信号機の設置（特に既存道路）のご要望を多数いただいたいておりますが、県全体の設置予算が既存道路分では30基程度しかないので、思うように進みません。公明党としては予算増額を強く要望中です。

